

ペンリレー

「健康であれば・・・」

甲府21ワイズメンズクラブ 松村 豪夫

本年になってブリテン委員から会員のペンリレーで原稿をお願いしますという依頼があり、また当番かと、焦ってしまいました。最近の近況報告しかないと思い、昨年の国立病院の入院とリハビリの状況を報告させていただきます。昨年5月のゴールデンウィークあけに信州の穂高にいる義妹のところを訪問し安曇野高原で尻餅について、その時はただの尻餅と思っていたら、2日後朝起きたら激痛で、救急車で甲府の国立病院に送られその後富士に転院し、8月にしてしま私は今まだ病気をしませが、昨年関係か、お医者さんにお世話になることが多くなりました。お陰様ですべて治癒し、現在は病院に入院以前と同じリズムで過ごしています。最近国立病院の定期検査で、すべて異常はなく、ただ糖尿病数値に懸念があるので食べ物には注意するようと言われました。現在1週間の生活状況は、日曜に礼拝に出席して心を整え、月、木の病院でのリハビリ、火、金のグランドゴルフ、水曜の夜のマージャン、毎日早朝のドラゴンパーク2週の散歩を実行しております。と言うと「それは良いですね、頭と足と手を使い良い運動ですね。それを続けて下さい。」と医師から言われました。現在こんな状況であります。その他、77歳を迎えようとしている今、責任ある事はほとんどなくなり、すべてフリーになり、自由気ままに過ごしています。

〈次号は鎌田 巖さんの予定です〉

会員在籍者数	30名	(2019年2月末現在)
2月の出席率		
例会出席数・・・	24名	
第二例会出席者数・・・	25名	(第二例会のみ1名)
メイキャップ・・・	0名	
25÷30=0.83・・・	83%	

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
2月の合計	17,413			
2月末迄累計	273,800	136,570	59,910円	800g
達成率	109.5%	273.1%	119.8%	16%

山梨YMCA便り

種が実を結んで募金となる

山梨YMCA 総主事 露木 淳司

新会館建設募金が始まりました。早速みな様方からのご支援が集まっておりますこと、まずもって厚く御礼申し上げます。ワイズメンの方々を含む賛助会員の皆様に案内をお送りして約2ヶ月が過ぎました。現在、申込み総額は目標7,500万円に対して、1,000万円を超えたところです。人数にして68名。そのうちワイズメンの方は20名です。本当にありがとうございます。私が初めて山梨に来て早15年になります。募金をくださる方はもちろん日頃からお世話になっている方も多いのですが、数回しか会ったことのない方やほとんど面識のない方々もたくさんいます。そんな見知らぬ方々から募金をいただく度に、この町で過去にYMCAを愛した人々が、かくも多くいらっしたことには驚きます。その方々を心の絆でつなぎとめていただいている大澤英二理事長を始め、歴代役員、職員の皆様、呼びかけ人を担っていただいている諸先輩方の人望の厚さに感謝すると共に、戦後の焼け野原からYMCA運動の種を蒔き続けてくださった偉業に心から敬意を表します。募金はその種が実を結んだ姿に他なりません。

創立当初から今日まで山梨YMCAを支え続けて来られた皆様は、今後も引き続き世界を見つめ、地域に根ざす運動をこの山梨の地において継承することを望んでおられるのだと思います。私たち職員はその皆様からのご期待と本来YMCAに備えられた使命を具現化していく役割を担っています。募金をいただく度に、その責任の重さに身の引き締まる思いです。同時に何としてもこのYMCA運動を未来につなぐため、その種から育った芽を大きな樹木に育て上げ、花を咲かせ、実を結ぶための努力を惜しみません。そのためにも今回の新会館建設を何としても成功させ、新しい時代を創っていかねばならないという使命感を覚えます。



白樺湖で日帰りスキー



富士見高原リゾートつぼみっこ



冬のフクロウキャンプ



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題	：私たちは変えられる	Moon Sang-bon (韓国)	甲府21ワイズメンズクラブ 2019年 3月会報 強調月間 BF (Brotherhood Fund)
アジア太平洋地域会長主題	：アクション!	田中 博之 (東京多摩みなみ)	
東日本区理事主題	：為せば、成る	宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)	
あずさ部長主題	：未来はそれに備える人のものである	廣瀬 健 (甲府21)	
甲府21クラブ会長主題	：世代を超えて、笑顔で奉仕	野々垣健五	

今月の聖句
放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい。さもないと、その日が不意に罨のようにあなたがたを襲うことになる。
 (ルカによる福音書21章34節)
葉袋 勝 選

会長挨拶
 ～弥生(やよい・3月)を迎えて～
甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五



3月1日(金)は、私の世代においても高校の卒業式の日でした。今年は何十年ぶりに、山梨英和学院高等学校の卒業式に列席させていただき、半世紀以上も前の自身の卒業式とダブらせながら、感慨深い時間を過ごしました。2月16日(土)には、東新部主催のEMCシンポジウムに出席しました。甲府21からの4名(駒田・廣瀬・小澤公紀・野々垣)を含め、63名という出席数でした。皆さん、熱心です。「何故、増えないのか?」、熊本からみえた上村九州部部長も大変良い発言をされていました。廣瀬部長もパネラーとして活躍してくれました。「Y'sメンズと教会をくっつける事に違和感を持つ」という発言もあり、それに共感を覚える方、又、反論、説明する方もありました。まとめると、「YMCA」という存在、そこに「C」があることからくる支援、理解をしないと無理があるなと思います。甲府21は、半数位の方がクリスチャンであります。このバランスの良さもさることながら、「YMCA」を支えるという事に意識を持っている方が多いのが強みであると思います。横浜YMCAは年収50億円以上。神奈川ワイズメンズクラブのメンバーは6クラブで81名。山梨YMCAの年収は1億5千万円。山梨のワイズメンズクラブのメンバーは3クラブで約80名。この様な比較はどうなのかと思いますが、この辺りもヒントがありそうです。

2月14日(木)には、御殿場東山荘運営委員会が開かれ、12名のメンバーで意見を交わしました。2万坪使って年収2、3億円。「利益＝返済金」を生み出さねばなりません。我がYMCAも近々同じ事を考えねばなりません。2月11日(月)に大怪我された茅野峠メンの一日も早い回復を皆で祈りましょう!!

● **2019年3月 例会プログラム** ●
 日時:2019年3月5日(火)19:00～
 会場:山梨YMCA青少年センター

- | | |
|----------------|------------|
| ①開会点鐘 | 司会:山梨譲治 |
| ②ワイズソング・ワイズの信条 | 野々垣健五会長 一同 |
| ③今月の聖句と一言 | 葉袋 勝 |
| ④会員スピーチ | 松村 禎夫 |
| ⑤会長挨拶 | 野々垣健五会長 |
| ⑥ゲスト・ビジター紹介 | 野々垣健五会長 |
| ⑦ハッピーバースデー | |
| ⑧ワイズディナー | |
| ⑨ゲスト卓話 | 三綿 直人氏 |

題目「人生の祝福の鍵 最も大切なものは何か」
 洪水の時、一番不足するのは、いのちに必要な「飲み水」です。
 現代は、情報洪水の時代です。多くの情報が溢れています。真に信頼できる情報が不足しているのではないのでしょうか。
 混迷の時代だからこそ、私たちの心を生かし、人生を活かす真の情報が必要だと思えます。
 2000年間変わらずに、私たちの人生に最も大切なものを語り続けている聖書を土台に、人生を祝福に導く鍵についてお話しします。

- | | |
|---------|---------|
| ⑩諸報告 | 寺田喜長書記 |
| ⑪YMCAの歌 | 一同 |
| ⑫閉会点鐘 | 野々垣健五会長 |

3月誕生者
 メン **松村豪夫さん** **3月2日**
 メネット **葉袋けさみさん** **3月31日**



3月例会卓話者
三綿 直人 (みわたななおと) 氏
 1973年大阪府堺市生まれ。大学卒業後、ソフトバンク、アメリカン・エクスプレス勤務を経て、2009年、全国各地の教会に招かれて聖書講演を行うキリスト伝道者となる。以来現在まで講演依頼が途切れることなく、年40週に及ぶ聖書講演を全国各地で精力的に行っている。ラジオ番組「聖書と福音」のメッセージも好評。聖書関連書籍の出版社「GFP ジャパン」の代表としても活躍。経堂キリスト集会責任者の一人。2男2女の父として子育てにも奮闘中。「人生の祝福の鍵 - 最も大切なものは何か -」で講演賜ります。

2月合同例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

日時 2019年2月5日(火)19:00~
 会場 山梨YMCA青少年センター
 出席者「メン」相川、飯田、荻野、小沢公、小沢智、鎌田、功刀、輿水、駒田、佐藤、清藤、茅野、露木魁、寺田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村禎、松村豪、葉袋、山縣、山本、米長、「メネット」荻野、清藤、廣瀬、松村仁
 「ゲスト」金明淑牧師、小沢建司、小野興子、依田友紀、露木総主事(敬称略)

2月TOF例会は葉袋メンの司会にて開会、今月の聖句と一言担当の山本メンと今月80才を迎える山縣メンのお二人は老いと向き合いについてコメント、会員一言の古屋メンは、勤務先の英和学院が今日卓話下さる金牧師の甲府教会会員の尽力にて創設されたと紹介、インビテーション出席の方が居られると匂わせながらの会長によるゲスト紹介があり、「おむすび」のTOFワイズディナーを短時間で済ませ、金牧師の卓話を拝聴しました。1983年来日、東神大にて学び、牧師として日本各地にて布教、2000年4月に甲府教会に着任、今年3月に広島教会へ転任されるとの事で急遽卓話をお願いしました。流暢な日本語にて、日本古来の諺や謎などを交えて「今日を生きる」と題し教会の説教ではない牧師の講演を頂きました。豊かな興味あるお話はもう少し長い時間を掛けてお聞きできればと残念に思いました。新天地での益々のご活躍お祈り申し上げます。今年度後半の主な行事、BCコンサート、草津クラブとの合同例会の概要が提案され、承認と協力要請が有りました。7月にはアジア太平洋



金牧師への感謝を述べる野々垣会長

地域大会が山台にて開催されますがクラブからの資金援助が有りますので参加くださいとの案内、及び諸報告が有り閉会しました。

「山梨 YMCA-甲府21は前進する」

甲府教会牧師 金明淑

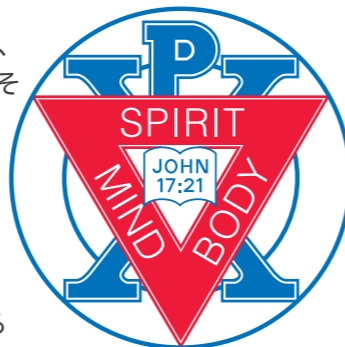
1519年武田信虎が甲府を開創しました。それから、この街に人々が集まり、町を築き上げ、郷土愛を育んできました。人々は一度も甲府の町を閉じることなく親から子へ、さらに孫へと 青い空と清々しい水、暖かい隣人を継承させ今日に至っています。そして今年2019年、甲府は開府500年という記念すべき節目の年を迎えています。



漂っている情感を引きまよめて

YMCA は1844年イギリスで始まって今は世界中に広がっています。

YMCA のマークには spirit, mind, body の三つの文字とその中心に新約聖書ヨハネによる福音書17章21節という数字が刻まれてします。この聖句に励まされ神様と一つとなって歩み続けることを目的とするロゴマークであることが感じ取れます。



21世紀はグローバル時代と言われ、地球の国々が一つになろうとしています。日本の真裏の国まで一日で辿り着きます。この世界は太陽の沈まないうちに着くことができます。1946年5月に創立した山梨 YMCA は、73年の歴史を積み重ねて今日に至りました。この長い歴史の中には目に見える財産もあれば、ここに集う一人ひとりの心を満たす志や希望があります。この歴史を継承させ、成しとげて行くのは一人ひとりです。これから山梨 YMCA と甲府21が広げてゆく力溢れる希望のストーリーに、一人ひとりがヒーローとなって手と手を繋いで歩むことでしょう。

旧約聖書・出エジプト記13章21節-22節にはエジプトでの奴隷生活400年から解放され希望の地カナンへ向かうイスラエルに臨む神様のご様子です。「主は彼らに先立って進み、昼は雲の柱をもって導き、夜は火の柱をもって彼らを照らされたので、彼らは昼も夜も前進することができた。昼は雲の柱が、夜は火の柱が、民の先頭を離れることはなかった。」主なる神様を中心として歩む群れを神様は離れることなく先頭に立って進む道を示してください。主なる神様の御導きと御祝福が皆様・一人ひとりの上にありますように。

「草津ワイズメンズクラブとのランデブー例会」

甲府21ワイズメンズクラブ DBC委員会

今年のDBCとして開催される草津ワイズメンズクラブとの合同例会は、「恵那峡・天竜峡ランデブー例会」として、当クラブがホストとなり、来る5月25日(土)から26日(日)にかけて行うことになりました。「草津と甲府の概ねの中間地点」として当地を選択しました。

初日は、恵那文化センター内の恵那市中央公民館で合同例会を開催します。例会では恵那市の歴史卓話を予定しております。また、昼食後にはNHKのドラマロケ地(『半分、青い。』となった、「岩村城跡のある城山に抱かれた女城主の郷・岩村の町」へ行きます。ここでは、女城主・岩村醸造の見学を中心に散策をいたします。

その後は、中央道恵那ICから飯田山本ICを経由して「天竜ライン下り」の港地へと車を走らせ、「投網の技と波しぶき、天竜川の絶景を下る爽快な船旅」を満喫して頂きます。



翌日は、ゆっくり朝風呂などはいかがですか?朝食後に南信州・飯田の本田善光公の誕生の地である『元善光寺』をお参りします。当寺では、ご本堂外陣より履物を履いたままでお戒壇巡りをお参りいただけます。元善光寺の観光後は、水引生産の全国シェア1位飯田の「水引の郷・山都飯田」へ向かい、水引の歴史講和(ビデオ)を拝聴し、水引を使用した工芸品の見学を行い、食堂にて昼食をとりまします。そして昼食後に草津クラブと解散します。その後当クラブ一行は、飯田ICから駒ヶ根ICを経由して、宝剣岳・しらび平から駒ヶ岳ロープウェイにて「千畳敷カール」観光をします。時間はタップリ?ですので十分楽しんでください。帰途の距離は110kmです。山梨YMCA到着は17時と予定しております。草津クラブの方々との親交をさらに深め、恵那峡・天竜峡の観光を存分に楽しんでみませんか。

満喫して頂きます。夕刻には、宿泊地である「湯本 久米川温泉」へと日程を進めます。滾々と湧き出る源泉をもつ久米川では、到着後から翌日の9時まで入浴可能ですので、のんびりとした温泉宿をご堪能いただき、酒宴では岩村醸造の「女城主」などを一献傾け、草津クラブとの友好をお深めください。



長野県「週刊信州」HPより



天龍峡温泉観光協会HPより

「EMCシンポジウムに参加して」

甲府21ワイズメンズクラブ 駒田 勝彦

日時 2019年2月16日(土)午後 1時30分より4時45分
 場所 東京YMCA・社会体育・保育専門学校2F 演習室
 出席者 全体63名 甲府21クラブから 野々垣、広瀬、小澤公、駒田 4名

A 挨拶: 山田東日本次期理事 から挨拶があり 現在東日本区会員数860名で1997年の1246名の2/3である これを4年間で戻したいと話されました。

B ワイズメンズクラブの現状 東新部直前部長伊藤幾夫氏から東新部のデータから1967年に比べて現在1/2以下になっている、このままでは無くなってしまふ、2022年Y'S 100周年に向けて急進したい、課題は会費、聖書祈り等現実のマイナスをどう対応するかですと話されました。

C YMCAとワイズの協調について 東京YMCA副総主事 星野太郎氏からワイズの方からYMへの問いで①YMはY'Sに何を期待するか見えない、支援を必要とすることが分らない②Y'Sへ力を貸してほしいとの声があります。またYMの方からY'Sへは①Y'Sの仕事がYMに回ってくるとの意見があります。 YMCAとY'Sの共通テーマは若者をYMCA、Y'Sに呼ぼうであり、そのために若者とのコミュニケーションが必要、若者は長い話、上目線、昔話、見た目の判断を嫌っています。これからは支えなくなるYMCA、入りたくなるY'Sにしていきたいと思ひます。と話されました。

D 発題 ①「新しい発想で新しいクラブ設立」東京世田谷クラブ太田克人氏 新クラブの発足の経緯と会費を低くし大学生も入会することが話されました。

②「いきおいクラブの成功例」甲府21クラブ 廣瀬健氏クラブに魅力があること、イベントの誘い楽しさを実感して心揺さぶられて入会するにつながる(ユーモアを交え会衆の気持ちを揺さぶっていました)

③「老舗クラブの苦悩」横浜クラブ 古田和彦氏 横浜クラブは来年90周年を迎える現在13名で辞めないクラブを目指す。

④「クラブの再生・再活性化」千葉クラブ 徳永浩一氏 2018年12月千葉市内に新クラブの準備を進めている、退職後の横のつながりのためにもY'Sがその場となること。

E 参加者によるディスカッション 自由な発言により行われました、主な内容は①SNS等により広くつながりを作る

②Y'Sの広報が少ない、SNSで幸いなことを発信しよう

③教会とY'Sの組織の選別はどこかの問いがなされ、これについて多くの人から発言があった

④2020に向けて 全会員 アンケート実施することの報告があった。

F 各部長の一言 各部長さんから一言がありました。現在東日本区では15名以下のクラブが半数位そのことから会員数にこだわらず5名以上でクラブができるのでクラブ数を増やすこと。

会員増強のキャッチフレーズを募集 し優秀者の東日本区大会参加費無料にするとのこと

G まとめとEMC宣言が発表されて閉会しました。



(左から) 駒田、廣瀬、野々垣、小澤公